

2026年 新年のあいさつ

聖年から新しい希望にむけて

昨年、カトリック教会は「希望の巡礼者」というテーマのもとに聖年を祝つてきました。名古屋教区でも、一年を通してそれぞれの小教区、ブロック、あるいは教区レベルでの祈りの集まりや巡礼、またさまざまな企画が行われました。

昨年、この聖年の間に教皇フランシスコが亡くなられました。教皇フランシスコは、亡くなる前日、すなわち復活の主日にバルコニーに立ち、力をふり絞つて集まつた人々にメッセージを送りました。最期まで人々に平和を訴え、人々ともに歩む姿を見てくれたこの姿こそ、私たちにとって大きななしであるしであり、希望だと思います。そして、神は教皇フランシスコの意志を継ぐ新しい教皇レオ14世を与えてくださいました。

十 新しい年のはじめに皆さまへの
祝福を祈ります。



教区司教

松浦悟郎

新らしい年のはじめに皆さまへの
祝福を祈ります。

昨年、カトリック教会は「希望の巡
礼者」というテーマのもとに聖年を
祝つてきました。名古屋教区でも、一
年を通してそれぞれの小教区、ブロッ
ク、あるいは教区レベルでの祈りの集
いや巡礼、またさまざまな企画が行わ
れました。

昨年、この聖年の間に教皇フランシ
スコが亡くなられました。教皇フラン
シスコは、亡くなる前日、すなわち復
リリストの平和は)「謙遜で、忍耐強い、
武器のない平和、武器を取り除く平和
です。この平和は神から来るものです」
と語り、さらに、次のように続けまし
た。「神はわたしたちを愛してください
ます。神はわたしたち皆を愛してください
ます。悪が打ち勝つことはもは
やありません。わたしたちは皆、神の
み手のうちにあります。それゆえ、恐
れることなく、神と、また互いに手と

したちが皆 一
つに結はれて 常に平
和のうちにある唯一の民となることが
できるために。教皇フランシスコよ、
ありがとうございます。」

教皇レオ14世はこのように、キリストこそ神と人類を結ぶ「橋」であり、私たちも互いに一つに結ばれて「橋」をかけようと呼びかけました。暴力をあらゆる差別は人類を分裂させるもの。聖年を経て私たちが目指すものは、神の前に人類が一つになることすなわち神の国の実現です。

神の本性において産ん
母ではない。「子であ
神」の母ということであ
る。聖アタナシオ司教
会博士として知られる
レキサンドリアのアタ
シオスはマリアをローマ
(λογος・神の御言葉)
の母と称していた。
マリアを「神の母」
宣言したのは、431年の
フェソス公会議である
しかし、その宣言は簡
になされてはいない。

ら、神よりも上の存在のかというとそれは間違っている。マリアはキリストの「神的位格」つまり「まことの神であるエス」を産んだ母であり、神の本性において産ん母ではない。「子であります神」の母ということである。聖アタナシオ司教

コ单る。エと 速ゴナア教あるだ

教あるだ、イまり違な

いう言葉である。その意味は①③⑤テオは「神」、
②④トコスは「産む者」だそうである。マリアは神を産んだのだか

記念日として祝い、祈るのは古いローマ教会の伝統によっている。また、この日がことに大事にされるようになったのは、12月25日から数えてちょうど8日目にあたるからだそうだ。8日目にあたる1月1日、誕生した神

かりの御子イエスを羊飼いたちに示し、天使たちのお告げを聞いた彼らを喜びで満たしただけなく、今日も恵みそのもの

目にあたる1月1日に、
教会は、ローマの古い伝
統に従い、『神の母マリ
ア』の祭日を祝う。

『神の母』という聖
母マリアに対するこの
称号は、ギリシア語は
ΕΩΤΟΚΟΣ, 「テオトコス

新年を迎える、降誕8日

1月1日は神の母マリアの日

名古屋教区二工区

第462号
1
月
2026年
〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
news@nagoya.catholic.jp
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日登行

2026年

聖年の恵みを受けて、すべての人の
幸せと世界の平和を祈る

教区ホームページ	
福音の	ひびき
1月の説教者	
1日	神の母聖マリア 秋元 伸介 (布池教会)
4日	主の公現 窄口 松雄 (北陸ブロック)
11日	主の洗礼 伊藤 大有 (東山教会)
18日	年間第2主日 古川 利雅 (日比野教会)
25日	年間第3主日 片岡 義博 (北陸ブロック)



（五反城教会 新谷栄子）

—自殺を考えて苦しんでいる人々が地域社会の中で、必要とする支え、思いやり、また愛を見出し、いのちの美しさに心を開くことができるように。』

2025年11月の祈りの意向『自殺防止』教皇レオ14世による世界ネットワーク日本

キリスト教一致祈祷週間（1月18日～25日）

「すべての人を一つにし
てください」という最後
の晩餐でのイエスの祈り
にあるように、私たちは
目に見える一致を示すよ
うに求められている。そ
れはともに祈り、支えあ
うことによつて、神が全
ての人の救いのためにイ
エスを遣わしたことを見
る。協議会は1968年以来、毎年テーマを決めて

1月「永遠の安息のために祈る」とされてい
る「死者の月」にカリタ
ス福祉委員会では、死者
のため、特に自ら命を
絶った靈魂のため、遺さ
れた家族、友人、知人と
ともにミサを捧げてい
る。第4回となる今夏は、
カトリック五反町教会聖
堂にて主任司祭のアル
ディー・ハヨン神父とカ
リタス福祉委員会担当司
祭の山野聖嗣神父による
共同司式で捧げられた。
アルディー神父は説教
の冒頭で、「死者とは肉
体的な死を遂げた人を指
します。物理的、目に見
える存在です。そして靈

魂は肉体を超えた非物质的な存在です。このことから死者の月と月と表現するのが相応しい」と話された。続いてカトリック教会では「命は神からの贈物、愛のうちに神聖なもの、ゆえに頂いた命は神のみが唯一権威を持つ、その命を傷つけたり奪つたりしてはいけない」ということを強調してきたことも事実です。しかし今は、自死した人の魂も神の権威のもとにあり、その靈魂の世界は神の領域にあるということを大事に、全ての

カリタスのとサポートセンター
電話: 070-1220-7495
メール: note.saposen@gmail.com

ロゴカラーに合わせ
ロゴマーク

ロゴマークの商品は、クロネコヤマト
お送りするもの（A4サイズ相当・
全国一律420円で発送させてい
るサイズのものは、クロネコヤマ
トにて発送させていただきます）

注文Goo

素材 ポリエステル綿
サイズ S・M・L・2L
各種 3000円

のとのとなり 推し活グッズ

ご注文は右上のQRコードから
もしくはカリタスのヒサポートセンターの

第4回 大切な家族・友人のために捧げる

追悼ミサ



1日(木)祝 神の母聖マリア 日目(祭)	1月の教会暦	1月の教会暦
2日(金) 世界平和の日 聖大バジリオ オ(ナジアンゾスの)司教 教会博士(記)	2月(金) 聖アントニオ修道院長(記) 聖アントニオ修道院長(記)	2月(金) 聖グレゴリオ オ(ナジアンゾスの)司教 教会博士(記)
3日(土) 主の公現(祭) 主の洗礼(祝)	4日(日) 年間第2主日 キリスト教一致祈禱週間 聖アグネスおとめ殉教者	5日(月) 10日(土) 震災追悼ミサ*
5日(月) 本部事務局仕事始め 宣司評運営委員会*/典礼 委員会コアミーティング/ 信徒協役員会	6日(火) 11日(日) 12日(月) 13日(火) 14日(水) 15日(木) 16日(金) 17日(土) 18日(日) 19日(月) 20日(火) 21日(水) 22日(木) 23日(金) 24日(土) 25日(日) 26日(月) 27日(火) 28日(水) 29日(木) 30日(金) 31日(土) 32日(日)	1月の教会暦
1月の教会暦	1月の教会暦	1月の教会暦

1月 ありません



告知板



木 8日ひまわり・南山・樹の会
15日聖靈・南山・樹の会、22日城北
橋 29日布池
16日布池、23日長浦、
30日恵方町

△1月の炊き出し
8日ひまわり・南山・樹の会
15日聖靈・南山・樹の会、22日城北
橋 29日布池

16日(月)~20日(金) 司教総会

サダナ～神への道～ (初)【ダイアリー・サダナ】

聖イグナチオの靈性を基に、「心と知性の静けさ」「神様との個人的な触れ合い」を体験します。

今回、名古屋で初めて、ダイアリー・サダナを開催します。

対象 サダナ2参加経験者 4日間すべて参加できる方
日時 1月31日(土)・2月1日(日)・2月7日(土)・8日(日)
※全日 9:30~17:00の開催
場所 聖靈会 八事修道院 ミッションセンター(駐車可)
指導 植栗彌神父(イエズス会)
問合せ 撥上宏(かくあげひろし)
メール ngosdn@gmail.com
☎ 050-5897-5107

参加者喜びの声 右QRコードよりご覧ください。

新成人と共に祝う 「教区新年の集い」のお知らせ

開催日時 2026年1月18日(日) ミサ 14:00~15:30
場所 布池教会大聖堂 茶話会 15:30~16:30
* 今回は11:30~13:00 地下ホールで能登の物品販売
大聖堂で片岡義博神父(のとサポートセンターセンター長)の能登半島地震復興支援報告会があります。

名古屋教区として新しい年を共に祝う目的の集いです。
多くの皆さんの参加をお待ちしております。

お知らせ 名古屋教区信徒使徒職協議会・活動休止 52年の歩み 感謝ミサ

この半世紀に寄り添い続けた祈りと奉仕に感謝
日時 2026年2月11日(水・祝) 13:00~
場所 カトリック布池教会カテドラル
主司式 名古屋教区長ミカエル松浦悟郎司教
主催 名古屋教区信徒使徒職協議会



第19回 ホスピス聖靈講演会

テーマ: いのちに向き合う
~生と死の狭間の中で~

講師 松浦悟郎司教 カトリック名古屋教区長
日時 2026年2月28日(土)
講演 13:30~15:00 (その後、30分の質疑応答) *入場13:00~
会場 聖靈病院 2階 聖靈ホール
対象 一般
定員 100名 定員になり次第 締切
申込み方法 はがき、封書、またはEメールに、氏名・住所・電話番号をご記入ください。定員を越えましたら、ご案内申し上げます。

締切 2月13日(金) 必着

申込み先および問合せ先

〒466-8633 名古屋市昭和区川名山町56番地
聖靈病院 ホスピス聖靈 看護師長 松川幸江
電話 (052)832-1181 Eメール budou@seirei-hospital.org

主催 聖靈病院 ホスピス聖靈推進委員会
後援 ホスピス聖靈後援会「ぶどうの会」